

産業廃棄物処理計画書	
2024年 6月 14日	
三重県知事 殿	
提出者	
住所	三重県四日市市霞2丁目16番地
氏名	中部コールセンター株式会社 代表取締役社長 青井 光大
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号	059-363-0671
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量 その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	中部コールセンター株式会社
事業場の所在地	三重県四日市市霞2丁目16番地
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	H47 運輸業、郵便業/ 倉庫業
② 事業の規模	年間取扱数量(石炭類) 2,396,000Ton
③ 従業員数	11名
④ 産業廃棄物の 一連の処理の工程	<pre>graph LR; A[貯炭場 (散水・雨水)] --> B[場内清掃等(異物混入 スラッジ・汚泥)]; B --> C[最終処分場 (埋め立て処分)]; B --> D[反応槽]; D --> E[スミシクナー]; E --> F[処理水槽]; F --> G[散水設備(場内散水)]; E --> H[スラッジ]; H --> I[ベルトフィルター(脱水機)]; I --> J[燃料用として ユーザー]; I --> K[ケーキヤード]; A --> L[原水ピット]; L --> D;</pre>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

総括責任者(常務)

廃棄物適正管理の方針決定
各種事項の決定と承認廃棄物適正管理委員会
産廃物適正管理及び
マネジメントシステム維持と改善
に関する審査管理責任者(業務部長) 廃棄物適正管理の方針の周知
徹底・維持と改善管理・環境教育の企画業務部(廃棄物適正管理の維持と改善の推進・
監督官庁への報告・情報公開窓口)

施設部(処理施設技術管理)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	排出量	
	(これまでに実施した取組) 排水用構内側溝の定期的な清掃・側溝沈殿槽の汚泥自動処理機の定期的・汚水処理設備の点検・整備・沈殿槽内堆積汚泥の除去、場外道路等バキュームカー清掃後のスラッジ等選別	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	排出量	
	(今後実施する予定の取組) 現状維持	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 構内・構外現場作業での生活廃棄物とヤード等及び設備補修工事等 出る廃棄物との分別・分離
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【 前年度実績 】			
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量			
	(これまでに実施した取組) 排水処理設備等にて発生したスラッジ、脱水・乾燥させたスラッジ及び場内外清掃等にて発生した雑炭(異物混入選別済み分)当社既存需要家様に燃料用として引き取りを願っている。			
②計画	【 目標 】			
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量			
	(今後実施する予定の取組) 現状維持			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【 前年度実績 】			
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量			
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量			
	(これまでに実施した取組) 場内にて発生する污水構内側溝にて水処理設備に集約、ペーハー調整等を行い処理水を再度散水に使用、又污水に含まれるスラッジに凝固剤にて凝集沈殿槽に沈殿させ脱水機にいれ水分を抜き、乾燥させ搬送ができる状態し燃料としてリサイクル			
②計画	【 目標 】			
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量			
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量			
	(今後実施する予定の取組) 現状維持			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 実施していない	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 実施予定無し	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(これまでに実施した取組) 委託業者への定期的な現地視察・現状確認の実施	

②計画	【 目標 】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。	
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	(今後実施する予定の取組)		
	委託業者への定期的な現地視察・現状確認の継続及び優良認定未取得委任先への優良認定取得の声掛け等 優良業者活用の取り組みを行う		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行なうことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行なっている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
- 7  欄及び※欄は記入しないこと。

記入願います
 記入不要です

項目 \ 廃棄物の種類 現状/計画			ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	合 計 量
			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	家畜のふん尿	家畜の死体	動物系固形不要物	13号廃棄物	建設混合廃棄物	(t)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量①	前年度実績																						0
		今年度目標		1,800				10																1810
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量②+⑧	前年度実績																						0
		今年度目標		350																				350
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量⑤	前年度実績																						0
		今年度目標																						0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量⑦	前年度実績																						0
		今年度目標		1350																				1350
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分又は海洋投入処分に に関する事項	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量③+⑨	前年度実績																						0
		今年度目標																						0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量⑩	前年度実績																						0
		今年度目標		100				10																110
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量⑪	前年度実績																						0
		今年度目標																						0
	⑩のうち再生利用業者への処理委託量⑫	前年度実績																						0
		今年度目標						10																10
	⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量⑬	前年度実績																						0
		今年度目標																						0
	⑩のうち認定熱回収業以外の熱回収を行う業者への処理委託量⑭	前年度実績																						0
		今年度目標																						0

(注) 産業廃棄物処理計画実施状況報告書(様式第2号の9)を提出する事業者は、本シートの前年度実績欄への記入は不要です。記入しても差し支えありませんが、その際は、様式第2号の9 別紙2の報告数値と一致していることを確認してください。

(参考) 各項目の白抜き番号は、様式第2号の9 別紙2の項目番号です。